

第2次胎内リゾート活性化アクションプラン

(平成25～29年度)

平成26年3月

胎 内 市

目次

1. 第2次アクションプランの策定にあたって	1
2. 重点的に取り組む事項	2
3. 基本施策の具体的展開	3
3.1 リゾートエリア全体の空間的な一体感醸成(基本施策①)	4
3.2 地域資源を最大限に活用した体験プログラムの創出(基本施策②)	5
3.3 徹底した地場産品利用を可能にする仕組みづくり(基本施策③)	7
3.4 多様な媒体を活用したプロモーションの実施(基本施策④)	8
3.5 リゾートエリア全体のプラットフォーム機能の強化(基本施策⑤)	9
3.6 広域ブランディングの推進(基本施策⑥)	10
4. 主要施設の具体的展開	11
4.1 宿泊施設	11
4.2 レクリエーション施設	14
4.3 飲食・物販施設	19
4.4 教育・生涯学習施設	22
5. 胎内アウレツ館について	26
5.1 胎内アウレツ館の位置づけ、具体的展開策	26
5.2 胎内アウレツ館の今後の展開	28
5.3 ロイヤル胎内パークホテルとの区分と連携	29
6. 観光交流センターについて	30
参考資料：胎内リゾート施設で受け入れ可能な体験プログラム	31
参考資料：たいない型体験学習 体験プログラム一覧	36



1. 第2次アクションプランの策定にあたって

アクションプランの位置づけ

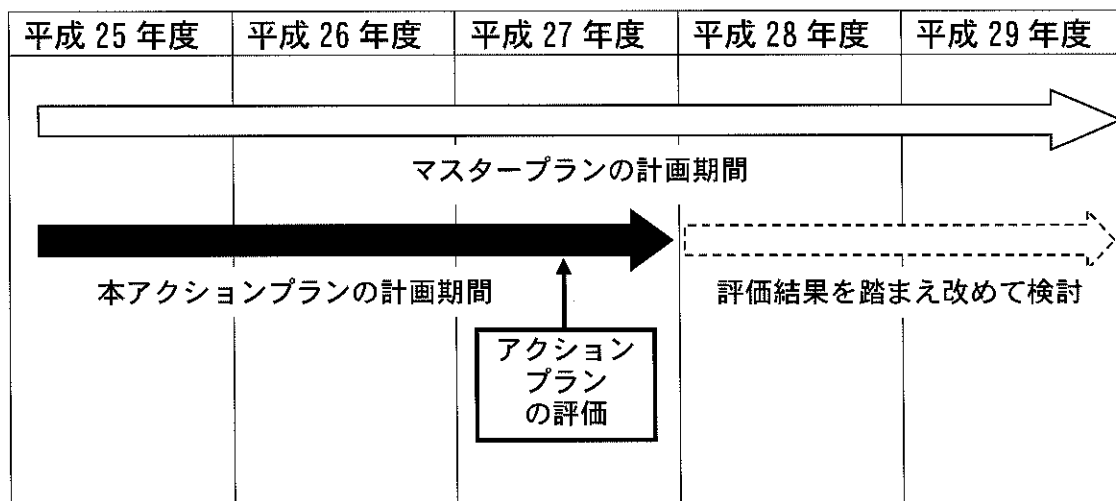
第2次胎内リゾート活性化マスタープラン（以下、マスタープランと称する）は、胎内リゾートの魅力の創造と向上及び再生・活性化に向け、胎内リゾートが今後目指すべき姿を示すとともに取組みの具体的な方向性を示すことを目的として策定されています。

この第2次胎内リゾート活性化アクションプラン（以下、アクションプランと称する）は、マスタープランで示された方向性に基づき、各種施策の具体的な展開策や、主要施設における具体的な施策について整理したものです。

アクションプランの期間

このアクションプランの期間は平成25年度（今年度）から平成29年度までの5年間とします。なお、マスタープランの目標年次である平成29年度末に向け、平成27年度にはアクションプランの評価を行い、平成28～29年度のアクションプランを改めて検討します。

図 マスタープランとアクションプランの関係



2. 重点的に取り組む事項

このアクションプラン期間中に、特に重点をおいて取り組む事項は以下の通りです。

- ①ロイヤル胎内パークホテルの収支改善
- ②リゾート全体としての集客力の向上
- ③地域連携の強化

①ロイヤル胎内パークホテルの収支改善

ロイヤル胎内パークホテルは、胎内リゾートの中でも中核的な施設ですが、胎内リゾートに立地する各種施設の中でも、施設規模が他施設よりも大きいことや、誘客面、財政面でも影響が大きいことから、ロイヤル胎内パークホテルの収支の改善にさらに重点を置いて取り組んでいきます。

②リゾート全体としての集客力・営業力の向上

これまでの胎内リゾート各施設での来訪者の増加に向けた取り組みは、施設個別の取組みにとどまっている場合が多く、また、胎内リゾートが持つ各種の地域資源（豊かな自然や質の高い農畜産品、各種施設を活用した体験活動等）を十分に活かしていませんでした。

そこで、各施設が連携し、各種の地域資源を活用した胎内リゾート全体での集客力・営業力の向上に重点を置いて取り組んでいきます。

③地域連携の強化

地域が有する自然、歴史、文化、食、産業などの多様な魅力を誘客力に繋げるため、リゾートエリアのみならず、市内の様々な事業者、施設との連携を積極的に進めます。

地域イメージの強化を目的に、周辺観光地との連携に基づく広域での商品造成、プロモーション等に取り組み、広域でのブランディングを推進します（プロモーション等に使用する名称については要検討）。

3. 基本施策の具体的展開

マスタープランにおいては、基本コンセプト実現に向け以下の6つを基本施策として位置づけています。

- ・基本施策①：リゾートエリア全体の空間的な一体感醸成
- ・基本施策②：地域資源を最大限に活用した体験プログラムの創出
- ・基本施策③：徹底した地場産品利用を可能にする仕組みづくり
- ・基本施策④：多様な媒体を活用したプロモーションの実施
- ・基本施策⑤：リゾートエリア全体のプラットフォーム機能の強化
- ・基本施策⑥：広域ブランディングの推進

基本施策別の具体的な展開策は次ページ以降のとおりです。

3.1 リゾートエリア全体の空間的な一体感醸成(基本施策①)

(1) リゾートエリア周辺の空間整備

中条駅～胎内リゾートの動線整理

現在、中条駅から胎内リゾートへ向かう道（ルート）は何種類かあるため、どの道がメインルートなのかがはっきりしていません。そこで、今後各種ハード整備を進めていく上での基本として、胎内リゾートに向かうメインルートを確認します。

メインルートの整備計画の検討

確定したメインルートについて、胎内リゾート全体の案内版や各施設への案内板を整備するとともに、道路沿いに並木を整備したり、エントランスゲートを整備するなど、「リゾートエリアに向かっている」「ここからがリゾートエリアだ」という空間的な雰囲気づくりに向けた整備計画の検討を進めます。

樽ヶ橋エリアの空間整備

「樽ヶ橋エリア活性化検討委員会」「胎内リゾート魅力向上委員会」等での議論を踏まえ、樽ヶ橋エリアのハード・ソフト事業の基本構想・基本方針を平成 25 年度中に策定し、さらに基本計画・実施計画の策定を進めていきます。

観光交流センターの活用方策の検討

平成 22 年度にオープンした観光交流センターが立地している場所は、胎内川沿いの風光明媚な場所であり、また胎内リゾートの入口と位置づけられる場所であることから、胎内リゾート魅力向上委員会や樽ヶ橋エリア活性化検討委員会の中で、観光交流センターの情報発信機能や簡単な飲食機能を有する拠点としての活用方策を検討していきます。

今後の社会情勢を踏まえた施設運営・活用方策の検討

樽ヶ橋エリアにはいくつかの施設が集積して立地していますが、老朽化した施設や厳しい運営状況の施設も存在していますので、今後の社会情勢を踏まえながら、「胎内リゾート魅力向上委員会」や「樽ヶ橋エリア活性

化検討委員会」の中で、施設の運営形態の見直しや用途変更等の施設活用方法の検討を進めていきます。

(2) 胎内平エリアの空間整備

ロイヤル胎内パークホテル玄関前の空間整備の検討

ロイヤル胎内パークホテル玄関前の空間は胎内リゾートの中心となる場所ですが、現状では「和」と「洋」の雰囲気混在して統一感が無く、駐車場を含め広い空間が存在しているだけとなっているため、空間的なイメージの統一や、胎内リゾート来訪者が必ず訪れるような賑わいのある空間への整備などを検討していきます。

散策道の整備

胎内平エリアはロイヤル胎内パークホテルを中心に各施設が比較的集積して立地しているため、宿泊者が気軽に他の施設を訪れたり、エリア内を徒歩で散策したり出来るよう、歩きたくなるような散策道の整備や、エリアマップや看板の整備を進めます。

「花」の積極的な活用

ロイヤル胎内パークホテル、胎内フラワーパークを中心に、胎内平エリア全体の各所に花を植え、胎内平エリアの景観の向上、胎内リゾートのイメージの向上を推進します。なお実施にあたっては市民の参加を積極的に促し、地域全体の取組みにしていきます。

今後の社会情勢を踏まえた施設配置・運営の検討

胎内平には多くの施設が集積して立地していますが、利用状況、運営状況の厳しい施設も存在しています。一方、他地域のリゾート施設に見られるような別荘等の長期滞在型の施設は存在していませんので、今後の社会情勢を踏まえながら、新たな機能を持った施設の配置や既存施設の運営形態の見直し、用途変更等の施設活用方法の検討を進めていきます。

3.2 地域資源を最大限に活用した体験プログラムの創出(基本施策②)

(1) 着地型旅行商品造成担当者の設置・育成

日帰り旅行や宿泊旅行のオプションとして、胎内リゾートエリア内で既

に実施されている各種体験型プログラムの具体的な商品化や、消費者のニーズにあわせた新たな体験型プログラムの創出・商品化（＝着地型旅行商品の造成）を推進します。なお、新たな体験型プログラムとしては朝の自然散策プログラム、夜の星座観察プログラムなど、宿泊を伴うことで楽しめるプログラムの創出・商品化を意識しながら進めていきます。

また、先進事例の視察やセミナー等への参加を通じてこうした着地型旅行商品の造成を行うことが出来る人材の育成を進めます。

（２）体験型プログラムを実施できる人材（ガイド）の育成

各種体験型プログラムを着地型旅行商品として実施するにあたっては、専門的な知識・経験を持つ人を増やすこと以上に、簡単な知識を持ち観光客に分かりやすく説明できるようなガイドを多く育成することが必要になります。

そこで、胎内リゾート各施設の職員のうち、こうしたガイドに適する人に対して研修や勉強会を実施し、ガイド人材の育成を進めます。

また、市民の中にも各種体験型プログラムに関わる知識（星に詳しい、植物や花に詳しいなど）を持つ人・団体はいると考えられますので、こうした人・団体を市民ガイドとして育成することにも取り組んでいきます。

（３）体験型プログラムの宣伝強化

胎内リゾート各施設で実施されている体験型プログラムや各種イベントを、宿泊拠点であるロイヤル胎内パークホテルのロビーに胎内リゾート各施設が自由に活用出来る掲示板を設置し掲示したり、ホームページに掲載、積極的な宣伝活動を展開します。

また、各施設従業員が来訪者と接する際に、積極的に体験型プログラムや各種イベントを紹介するよう、従業員教育も進めていきます。

（４）イベント実施計画の立案

胎内リゾート内で実施されているイベントを整理するとともに、一貫したテーマやコンセプトを持たせたり、胎内リゾート全体で一つのイベントを開催したりするなど、集客に向け戦略性を持ったイベント実施計画を策定します。

3.3 徹底した地場産品利用を可能にする仕組みづくり(基本施策③)

(1) 地場産品の需要と供給をマネジメントする仕組みづくり

胎内リゾート内の宿泊施設や飲食・物販施設で今後見込まれる地場産品の使用量と、胎内市内の生産・加工施設で今後可能な地場産品の生産量を定期的に確認・調整する場を設置するとともに、市内農畜産農家と契約栽培等について協議するなどにより、地場産品の需要と供給のバランスの確保を推進します。

(2) 地場産品を活用した「料理」の提供の推進

胎内産の地場産品の把握と関係者への周知

胎内市内で生産されている主要な地場産品の品目や生産量・生産可能量を改めて整理するとともに、その品目・生産量・生産可能量に関する情報を胎内リゾート各施設の料理関係者で共有します。

【※主要な地場産品】

- ・野菜（山野草、紅はるか、根菜類、葉物、ネギ、キュウリ、カボチャ、ナス、トマトなど）
- ・果物（ハウスイチゴ、ハウスメロン、ブドウ、イチジク、洋梨など）
- ・魚介類（ニジマスなど）

胎内リゾートへの地場産品導入の推進

胎内リゾート各飲食施設において地場産品の利用率の目標値を設定（例えば1食につき材料の50%以上を地場産品とするなど）することにより地場産品の利用した料理の提供を推進します。

地場産品を活用した名物料理の開発

胎内リゾートの「売り」となるような、地場産品を活用した“胎内ならではの”名物料理の開発に取り組んでいきます。

(3) 地場産品を利用した「加工品」の使用の推進

胎内市産の加工品の把握と関係者への周知

胎内市内で生産されている主要な地場産加工品の品目や生産量・生産可能量を改めて整理するとともに、その品目・生産量・生産可能量に関する情報を胎内リゾート各施設の料理関係者で共有します。

【※主要な地場産加工品】

- ・米粉（たいないべえべえ、パン、麺類、クレープなど）
- ・飲料（地ビール、地酒、地ワイン、水、お茶など）
- ・菓子類（米粉の菓子、米粉のデザート、乳製品を使ったデザートなど）

胎内リゾートへの地場産加工品導入の推進

宿泊施設、飲食施設で提供する飲料は基本的に全て地場産加工品に切り替える、宿泊施設の朝食を始めとして各種料理・デザート等に全面的に導入することにより地場産加工品の使用を推進します。

地場産加工品の更なる改良・活用による特産品の開発

地場産加工品を更に改良・活用することにより、胎内リゾートの「ウリ」となるような特産品の開発に取り組んでいきます。特に、近年“米粉”に対する関心は全国的にも高く、胎内市が米粉の生産地として注目を集めていることから、まずは“米粉”を中心にさらなる開発に取り組んでいくこととします。

3.4 多様な媒体を活用したプロモーションの実施(基本施策④)

(1) 胎内リゾート全体を一体的に扱うウェブページの作成

胎内リゾートのホームページについて、「学びとやすらぎの里」のイメージにあうよう、また、より地域の魅力を分かりやすく、特長が出るようリニューアルする。また、各種イベントや体験型プログラム等の情報を積極的に発信していきます。

顧客目線に基づいた一体感の醸成を目的に、胎内リゾートエリア内の各施設の利用案内、見どころ、体験プログラム等に関する情報を一元的に発信するためのウェブページを整備します。

(2) SNS等を活用したプロモーション

プロモーション活動の一環として、Facebook や twitter 等の SNS を活用した双方向型のプロモーション活動に取り組みます。

(3) 各種プロモーション活動の実施

新潟市内や首都圏における胎内リゾートの露出を高め、胎内リゾートの魅力を知ってもらうため、地元マスコミに対するプレスリリース、旅行会社との連携、首都圏で開催される各種イベントへの参加などのプロモーション

ョン活動を展開していきます。

【※具体的なプロモーション活動例】

- ・各種イベントや胎内リゾートで行われている取り組みについて、地元マスコミに対するプレスリリースを定期的を実施
- ・旅行会社が企画実施する新潟市内発、首都圏発の旅行商品づくりに、取材対応や映像・写真提供などによる積極的な協力や、着地型旅行商品の売り込み
- ・首都圏で開催される新潟県関係のイベントや、交流のある自治体でのイベントへ参加（特産品の販売、割引券の配布などの実施）
- ・新潟県人会など、首都圏在住の新潟県民・胎内市民に対するプロモーション活動の実施
- ・胎内リゾートが持つ特徴的な地域資源（例えばライフル射撃場、石油発祥の地）に関連する特定の団体・個人に対するプロモーション活動

（４）胎内リゾートの宣伝・紹介ツールの作成

中条駅に胎内リゾートの案内板を設置する、現在の胎内リゾート総合パンフレットを改訂する、胎内リゾートの魅力を紹介する動画を制作するなど、市内外で胎内リゾートを具体的に宣伝・紹介するためのツールを制作します。

（５）胎内リゾートの会員制度の創設

胎内リゾート全体での会員制度を立ち上げ、会員に対するダイレクトメールの発送、各施設共通のポイントカードの発行、会員限定の各種特典付与などを実施し、胎内リゾートのリピーター確保を進めます。

3.5 リゾートエリア全体のプラットフォーム機能の強化(基本施策⑤)

（１）多様な運営主体間の連携を促進する仕組み構築

市（リゾート内の各施設の担当課）、指定管理者を含む各施設の管理・運営主体、観光協会等の参加に基づく、「胎内リゾート魅力向上委員会」を設置し、リゾートエリア全体の魅力創出、向上に関する議論を定期的に行う機会を設けます。

（２）観光協会との連携による対外的ワンストップ窓口整備

観光協会との連携を進め、リゾートエリア全体の情報を一元的に発信するための窓口機能の整備を行います。

3.6 広域ブランディングの推進(基本施策⑥)

(1) 広域連携の推進

村上市や新発田市と協働しての新潟市、首都圏向けプロモーションの展開や、広域エリア全体のパンフレットの作成、同種の観光施設の一体的なPR・運営など、各市町村・施設が持つ特長を活かして役割を分担しながら、連携して取組むことの出来る体制、仕組みを検討します。

4. 主要施設の具体的展開

4.1 宿泊施設

(1) ロイヤル胎内パークホテル

【基本方針】

- 主要マーケットの「新潟市」「首都圏」への転換
- 地域資源と連動した“胎内ならでは”の宿泊・日帰り商品づくり
- リゾートエリア各施設とのシナジーによる顧客満足度の最大化

① 営業・販売

a. 宿泊・日帰り商品の計画的検討・実施

- ・カレンダー、料金表、年間イベントスケジュール（予定・実施・施設・地域）の告知
- ・季節毎や歳時記を捉えたオリジナルプラン作りとタイムリーな発信
⇒胎内にしかない、出来ない魅力で勝負

b. 体験型プログラムを盛り込んだ商品づくり

- ・ホテルが中心となった体験型プログラムの旅行商品化（胎内リゾート各施設と連携し、各種体験が一体となった旅行商品づくり）

c. 通常宿泊以外の商品づくり

- ・敬老会、同窓会、町内旅行、研修合宿の受注喚起のためのセールスツール作成
- ・リゾートホテル貸切ウェディングプラン等の差別化提案
- ・ビジネスパック、ゴルフ・スキーパック等付加価値の高いセットアッププランの開発

d. ネットエージェントとのコラボレーションの推進

- ・M&Mサービスとの合同販促の実施

e. IT活用体制の強化

- ・自社HPコンテンツのレベルアップとSNSと連動した仕掛け・仕組み作り
- ・繁閑に応じたタイムリーなプランの発信

f. 顧客情報の管理・活用強化

- ・新規顧客の獲得、維持・育成、離反防止の為のCRM
(※CRM・・・customer relationship merchandising)
- ・お客様アンケートの分析と迅速な対応

② 飲食

a. 料理に対するコンセプトの明確化

- ・トレースアビリティ、マクロビオティック等ホテルの意思を料理に具現化
- ・トレンドを意識したホテルならではの料理の開発

b. ホテルで提供する料理の方針の検討・決定

- ・ホテルの外観・内装等の雰囲気をつまえた、料理の方針の検討・決定
(基本的には、和風というより欧州の高原地方のイメージを目指す)

c. ホテルで提供する料理の内容・提供方法の強化

(全体)

- ・地場産食材(米粉など)の積極的な提供
- ・地場産品(地ビール、ワイン、水など)の積極的な提案
- ・アトラクション要素の導入(ライブクッキング、シェフ・板長の料理説明など)
- ・取引先の新規導入・改廃による仕入率の改善
- ・繁忙期の屋外空間の活用(レストラン前バルコニー、ランチ時の空き部屋の活用)
- ・スタッフの育成強化(基本的なサービスは勿論、料理や食材の簡単な説明が出来るように)

(朝食)

- ・定食(和・洋食)・バイキングの内容、提供方法の改善(地場産食材の積極的な利用)

(昼食・喫茶)

- ・ランチメニュー及び週替りメニューの改善・見直し

(夕食)

- ・胎内の“旬”が感じられる食材の活用
- ・宴会料理のシーズンテーマの設定(売りの部分の明確化)

③ 施設

a. ホテル内設備・備品等の改善

- ・客室の清掃・セッティング方法の統一に向けたマニュアル作成
 - ・統一VMDの教宣（※Visual merchandising）
- b. ロビー（フロント前の空間）の改善
- ・胎内リゾートエリアの情報発信コーナー常設
 - ・歳時記等を捉えた工芸品、クラフト品の展示
- c. 1階飲食店スペースの活用方法の検討
- ・ホテル内での過ごし方の提案も踏まえた「たいない寿司跡地」「ベネチア」の活用方法の検討
- d. ギフトショップ商品群のスクラップ&ビルド
- ・新潟産、県北産、胎内産の3つのカテゴリーに区別し、特にホテル謹製の米粉スイーツ、高原ワイン等を重点販売。繁忙期の試飲や実演等で胎内ブランドの拡販に努める。
- ④ 労務管理・人材育成
- a. 従業員の「多機能化」の推進
- ・各従業員が複数の部門の業務を担当（例えば、フロント担当は配膳やイベント担当、冬季のスキー場勤務等）ができるよう、フレキシブルなシフト編成が可能となるような効率を追求した人件費構造とする。
- b. 従業員のスキルアップ
- ・業務支援を仰ぐM&Mサービス施設への研修実施
- c. コンプライアンスの随時教育実施
- ・法令を遵守する社会的責任の認識

（2）奥胎内ヒュッテ

【基本方針】

- 主要ターゲットは「新潟市の自然愛好家」を狙った営業展開
- 登山者から自然散策まで大自然を体感できる高原宿泊施設
- 登山者の生命の安心・安全を意識した運営体制

- ① 営業・販売
- ・奥胎内ヒュッテ「ネイチャープログラム」の提案
奥胎内周辺トレッキング、木工（間伐材等）工芸品制作体験、ロープワーク体験等

- ・ ロイヤル胎内パークホテルとの相乗効果
HP相互リンク、連泊プラン、ロイヤル宿泊者へのオプション提案（新緑・紅葉）
- ・ 森林浴の様な日帰り温泉の提案
- ・ その他溪流釣り、昆虫採集等のオプション提案

② 飲食

- ・ ヒュッテスタッフが採集した山菜・茸をはじめ、ヤマメ、イワナ、鮎等の川魚をメインに、天然素材を使うことでヒュッテ独自の素朴さをアピール
- ・ 「テラスでのティーブレイク」を過ごし方の提案として図り、胎内市特産の米粉スイーツをロイヤル胎内パークホテルとの連動で提案

③ 施設

- ・ 案内看板・サイン類の充実
下館十字路～樽が橋エリア～胎内エリア～奥胎内ヒュッテまでの要所
ブナ林散策コース
- ・ 隣接キャンプ場の補修

④ 労務管理・人材育成

- ・ 緊急対策の宿泊者の万全な対応
- ・ 散策ガイド、山岳知識の習得～登山熟練者の育成

4.2 レクリエーション施設

(1) 国設胎内スキー場

【基本方針】

- 主要マーケットを「新潟市」とした営業展開
- ある程度滑ることの出来るスライヤー(+子供連れのファミリー)を主対象

① 営業・販売

- a. スキー場の特長・魅力の整理・PR
 - ・ 「ある程度滑れるスキーヤーに向けた、新潟市内から至近距離に多様なコースを持つ、滑りがいのあるスキー場」のイメージ打ち出し
 - ・ 便利な立地であることを活かした「迷ったときには胎内スキー場」のイメージ展開
 - ・ 周辺（競合）スキー場との違いを明確化した上での、周辺スキー場と一体となったPR・運営
- b. ITを活用した情報発信の強化

- ・シーズン中のHPの毎日更新の徹底
 - ・QRコードを活用した情報発信の実施
 - ・ライブカメラ等の導入による、ゲレンデ情報の随時発信
- c. **各種プロモーションの実施**
- ・シーズン前（12月上旬）の新聞広告の実施
 - ・地元マスコミに対する頻繁なプレスリリースの実施
 - ・ポスター、パンフレット等の配布
 - ・県内の各種スキー関係イベントへの参加・PR
- d. **マーケットセグメントに応じたきめ細かい料金設定**
- ・シーズン券、1日券、4時間券などの導入検討
 - ・ファミリー券、カップル券等団体向けのチケット設定、料金検討
 - ・ハードリピーターへの割引システムの導入検討
 - ・シーズン毎に目玉となるイベント・料金の改定検討
 - ・エスカレーター料金の改定検討
 - ・スノーシュー（70才以上）の4時間券価格の検討
 - ・ファミリー・カップルを含めた2名以上割引の検討
- e. **営業期間・時間の柔軟な設定**
- ・積雪状況を考慮した、12月（シーズン当初）、3月（シーズン終盤）の営業期間・時間の柔軟な設定検討
 - ・ナイター営業期間・時間の検討
- ② **飲食**
- a. **消費者ニーズの把握**
- ・売れ筋メニューの動向把握
 - ・ロッジでのアンケート調査等の実施
- b. **地場産食材を活用したメニュー開発**
- ・ロッジごとの目玉商品の開発
 - ・地場産食材を活用した軽食・おやつ（スキー終了後などにちょっと空腹を満たせるもの）の開発
 - ・日替わり・週替わりメニュー等の導入検討
 - ・数量限定の「お楽しみメニュー」の導入検討
 - ・土日祝等のバイキング導入の検討
- c. **地場産品の販売場所の設置**

- ・ ロッジ内に地場産品（地ビールなど）販売コーナーを設置
- d. 客層に応じたメニュー開発
 - ・ 女性向けメニューの充実
- e. 飲食場所の充実
 - ・ 好天時の野外ブースの充実
- ③ 施設・コース
 - a. コースコンディションの維持・充実
 - ・ 圧雪等による、より良いコースコンディションづくりの維持・充実
 - ・ スキー/スノーボード専用ゲレンデやハーフパイプの設置検討
 - b. 効率的なリフト運行計画の検討
 - ・ 入り込み客数に応じた、日別等の運行計画の策定
 - c. サイン類の充実
 - ・ コースの連絡サイン、各種施設案内サインの充実
 - d. 備品類の充実
 - ・ スキー、スノーボードスタンド等、顧客目線で必要と考えられる各種備品類の充実
 - ・ ウェア、スキー/スノーボードのレンタル品の充実
 - e. 各施設の清潔感の維持・向上
 - ・ オープン前後の清掃の徹底や定期的な見回りの実施
- ④ 人材育成・活用
 - a. 「人（スタッフ）」の魅力の積極的な打ち出し
 - ・ スタッフの魅力を積極的にPRし、スタッフ一人々がスキー場の顔となり、親切・丁寧なおもてなしを提供するスキー場であることを打ち出す
 - b. コンシェルジェ機能の強化
 - ・ 有資格スタッフが必ず1人はいるようなコンシェルジェデスクをロッジ等に設置

(2) クアハウスたいない

【基本方針】

●胎内リゾートの活性化(魅力向上)へ向けた「情報発信・誘引」

① 営業・販売

- a. 胎内リゾート産の加工品等のPRおよび販売
- b. 胎内リゾート施設利用者へ、クアハウスたいない利用割引サービス
 - ・クアハウスたいないを利用した方へ胎内リゾート施設の割引利用券等の発行を検討

② 施設・コース

- a. (胎内リゾート利用者へ) レジャーおよびレストスペースの推進
 - ・施設の性質および設備面から、全面的に『日帰り温泉』と打ち出すには少々無理がある。しかし、家族一緒に温泉につかり過ごせるバーデゾーンやウォータースライダーがあり、レジャーおよびレストスペースとして利用促進を目指す。
 - ・具体的には(上記①-bにも共通するが)胎内リゾート施設とクアハウスたいないの共通割引利用券などの発行を検討。
 - ・施設相互間の利用向上推進と、人が循環することで胎内リゾート全体の活性化を図る。

③ 人材育成・活用

- a. 胎内リゾートへのコンシェルジュ機能を向上
 - ・お客様から「この辺で食事ができる所はないか？」とのお問い合わせが多い。そのような場合に胎内リゾート内の飲食施設等を案内するように誘引セールスしたい。また、胎内リゾート各施設観光する『周遊マップ』等のような物もあれば、積極的な情報発信も可能となる。

(3) 樽ヶ橋遊園

【基本方針】

●見るだけでなく、動物たちと触れ合える動物園

① 営業・販売

- a. 周辺施設と連携による団体客の獲得
 - ・ホテルやアウレツ館と連携し、動物とのふれあいを中心とした「見る」・「聞く」・「触れる」の体験型プランの提供・実施
- b. ガイド説明による付加価値の向上
 - ・今までの「ご自由にご覧ください」から、希望する団体(特に保育園など)には、園内職員による動物のガイド説明を行い、「楽しむ」に「学ぶ」をプラスし

たサービス向上の検討・実施

c. 新規目玉動物の導入

・H23年4月にアルパカを導入し、雑誌やマスコミ等に取り上げられた効果もあり、新潟県内には認知されてきた。H25年4月より当市特産品である黒豚とジャージー牛の飼育をスタートしたが、今後さらに誘客につながる新たな目玉となる動物の導入の検討を行う。

② 施設・人材

a. 新たな遊具の整備

幼児が安心して遊べ、ターゲットとなるファミリー層の誘客につながる大型遊具の新規導入を検討

b. テニスコートスペースの活用方法の検討

現在、使用していないテニスコートスペースの有効活用を検討

c. 園内看板の整備

飼育している動物の檻に、名称・特徴など統一した表示看板を設置する。

d. ガイド説明スタッフの育成

リゾート・樽ヶ橋エリアを含む、園内の動物ガイド説明も行える人材の育成

(4) フィッシングパーク

【基本方針】

●誰でも楽しめる釣り堀として集客し、自然の中の遊び場を提供

① 営業・販売

a. 安心で簡単に、家族で自然を楽しめるエリアをPR

・雑誌、HPを活用した定期的な情報発信

b. リゾート施設と連携して顧客を相互に誘導

・リーフレット等による施設間ルートの特示
・他施設利用者への入場優待の券等

② 施設・人材

a. 車椅子・乳母車利用者へのバリアフリー対策

・入口から池、施設周辺の動線の整備を検討

b. 日除け・雨避け対策で居心地の向上

・テント並びにベンチ等の設置

c. 繁忙期の待ち時間短縮と客への声かけ

・流し場・焼き場施設の充実と繁忙期の人員確保
・注意喚起と池周辺の初心者のサポートを実施（方言OK）

4.3 飲食・物販施設

(1) 胎内高原ビール園

【基本方針】

●おいしいビールを造ってお客さんに来てもらう

① 営業・販売

a. 販売強化

- ・胎内リゾート各施設の売店、レストランでの販売
- ・胎内市外でのレストラン、酒販店への提供

b. イベントの開催

- ・ワイナリーとの合同イベント「ワインを楽しむ会（7/20 開催）」
- ・オクトーバーフェスト（9月頃）の実施
- ・アマチュアバンドを呼んでのライブの開催
- ・BEERフライデー（7月中頃～8月）の実施

c. ホテルとの連携

- ・ホテルでのビールのPRの実施

② 飲食

a. 地域特産品の積極的に利用

- ・地場産農産物を活用したメニュー

b. ビール園でしか味わうことができない料理の提供

- ・スペアリブなどドイツ料理その他

c. 団体客への料理提供

- ・予約団体客へのビールと料理の提供

③ 施設・人材

a. 2階フロアの有効活用

- ・売店スペースの営業開始
- ・客席での軽食の提供

(2) ミネラルハウス

【基本方針】

●地域農業の活性化に貢献した製造・販売

① 営業・販売

a. 自社製品の販売強化

- ・需要の増加が見込める保存水の販売倍増を目指す
- ・新たなオリジナル商品の製造販売の拡大
- ・観光施設等と販売促進の相乗効果を図る

b. 大手メーカーとのタイアップ

- ・大手メーカーとタイアップによる新たな商品製造と安定した販路先の確保に努める
- ・プライベートブランド商品の提案

c. マーケティング市場の拡大

- ・消費者のニーズの応える魅力ある商品を製造し市場拡大に努める
- ・インターネットでの商品 PR

② 飲食

a. 見本市や各種イベントへの積極的な参加

- ・地元産物を原料とした料飲を提供し、PRとイメージアップに努める

③ 施設・人材

a. 施設の稼働率向上

- ・設備のメンテナンスを実施
- ・マニュアルの効率性を見直しにより作業率向上と経費節減を図る

(3) 胎内高原ワイナリー

【基本方針】

●胎内高原ワインのブランド確立

① 営業・販売

a. 胎内高原ワインのイメージの定着

- ・統一したテーマでの商品展開
- ・ワインラベルのデザインの同一性を図り認知度の向上
- ・パンフレット、ホームページ等も一貫したデザインで統一

b. ワインセミナーの実施

- ・市民等を対象にしたワインセミナー（勉強会）を実施

c. コンクール受賞を視野に入れたワイン造り

- ・国産ワインコンクール等に入賞することで知名度の向上
- ・受賞を視野に入れたワイン醸造をすることでワイン全体の品質向上に繋げる

d. ワイン販促会への参加

- ・販路拡大を図るため積極的に参加
- e. **ロイヤル胎内パークホテル売店と連携した販売促進**
 - ・各種ワインの特徴やブドウ畑の情報の提供
 - ・サンプルや古樽等の販促グッズの提供
- f. **県外や首都圏への販売強化**
 - ・県外イベントの出展や県外物産館等での販売促進を促す

② 飲食

- a. **ロイヤル胎内パークホテルでの使用**
 - ・低価格ワインを宴会やパーティー等で飲み放題の使用
 - ・ホテル限定のワインやワインラベルの提案
 - ・ワインの味を引き立てる料理の開発の提案
 - ・ソムリエ講師によるワインイベントの開催

③ 施設

- a. **ワイナリーツアーの開催**
 - ・市民を対象にワイナリーやブドウ畑の見学ツアーの開催
 - ・ホテルと提携しワイナリーやブドウ畑の見学を取り入れた企画の提案

(4) みゆき庵

【基本方針】

- 「**こだわりの味、本物の味、本気の蕎麦**」をコンセプトとした取り組み
- 「**そばの専門店**」として、ホテルレストランほか飲食施設との差別化

① 営業・販売

- a. **夜間営業の検討**
 - ・週末やトップシーズンにおける夜間営業の検討
 - ・夜間営業に連動した、宴会メニューの検討・営業活動
- b. **料理メニューの魅力 PR**
 - ・お品書きのリニューアル
 - ・お品書きへの記載や店内掲示等、地場産食材の活用の積極的な PR

② 飲食

- a. **ホテルとの連携による「食」の選択肢の多様化**
 - ・予約制蕎麦懐石など、ホテル日帰りプラン、宿泊プランへの料理開発
 - ・ホテル飲食メニューへの蕎麦の積極的な提供
- b. **料理の付加価値向上**
 - ・季節限定の商品開発

- ・手作りの漬物など、地場産食材を活用した蕎麦に「プラスできる一品」の開発

c. 蕎麦粉を活用した甘味・お菓子開発

- ・ホテルパティシエとの連携による甘味・お菓子開発

d. 地場産品の積極的な利用

- ・地ビールや地酒、水（ペットボトル）などは原則胎内産の販売に限定

③ 施設・人材

a. 独立店舗としての環境整備

- ・インターネット環境の整備
- ・パソコン最新機種を導入

b. 店内と外構の改善

- ・店内の汚れや老朽箇所のメンテナンスの実施
- ・店舗周辺の植栽や水流のメンテナンスの実施

c. 適切な人員体制の整備

- ・店長不在時に店を預かるスタッフの能力向上

4.4 教育・生涯学習施設

【基本方針】

- 誰でも気軽に楽しめる体験プログラムの充実化を図る
- 単なる生涯学習施設ではないスタッフの対応と展示の面白さを追及

(1) 胎内自然天文館

① プログラム

a. 夜間プログラムの充実

- ・飲食とともに星空を楽しむプログラムの開発
- ・星を楽しむ小規模イベントの頻繁な開催
- ・大人から子供まで楽しめる説明と案内資料の作成

② 施設

a. 屋上の使用方法の改善と積極的な利用

- ・夜間利用の拡大と充実
- ・日中利用の規制緩和（飲食できる場所としての活用）
- b. **施設と一体となった周辺空間の利用促進**
 - ・営林地の使用規制緩和の検討（飲食、限定的な火気利用の検討など）
 - ・休憩施設の設置検討（仮設や可動式などの休憩具による）

③ 人材

- a. **高い専門性を楽しく伝えられる人材の育成と確保**
 - ・予備知識の無い人が楽しめる解説の工夫
- b. **労働時間の見なおしと施設の開設時間の検討**
 - ・夜間の開放に主軸を置いた開設時間の設定

(2) クレーストーン博士の館

① プログラム

- a. **人気のあるプログラムの拡大と内容の充実**
 - ・天然石アクセサリーづくりのバリエーション拡大
 - ・天然石アクセサリーづくりのロイヤル胎内パークホテルへの出前講座
 - ・陶芸体験の受け入れ人数拡大を検討
- b. **施設の展示品の整理と季節ごとの入れ替えの実施**
 - ・展示品の美しさを楽しむ見せ方やアートの見せ方の実施
 - ・ゆとりとストーリー性のある展示空間づくりの実施

② 施設

- a. **施設の展示品の整理と季節ごとの入れ替えの実施**
 - ・展示品の美しさを楽しむ見せ方やアートの見せ方の実施
 - ・ゆとりとストーリー性のある展示空間づくりの実施
- b. **施設の外部空間の利用促進**
 - ・春、秋などに施設外で行う体験の検討
- c. **施設の利用度を高めるチケット改善**
 - ・展示と体験をセットにした入場券の販売を検討

③ 人材

- a. **解説や指導を行う市民の育成と確保**
 - ・施設ボランティアや友の会的な組織づくりの模索

(3) 胎内昆虫の家

① プログラム

a. 人気のあるプログラムの定期的な実施

- ・バックヤードツアーや昆虫に触る体験などの定期開催

b. 体験プログラムの受け入れ窓口整備

- ・ホテルフロントなど受け入れ窓口の一本化を図る

② 施設

a. 夜間の施設開放を星まつり等のイベントを活用して実施

③ 人材

a. 飼育補助を行う市民の育成と確保

- ・施設ボランティアや友の会的な組織づくりの模索

(4) 黒川郷土文化伝習館

① プログラム

a. 新たなプログラム（見学、体験）の開発

- ・胎内リゾート内の文化財・遺跡を紹介するツアーの開催
- ・鳥坂城～黒川城登山体験の中間拠点として登山計画
- ・子どもから大人まで気軽に楽しめる体験プログラム（縄文火起こし・弓矢体験、まが玉づくり、紙づくりなど）の実施

b. 企画展の開催、展示替えの実施

- ・市民の方々、来客者の意見を取り入れながら実施

② 施設

a. 胎内市の歴史文化発信基地としての認知度の向上

- ・胎内市の通史、偉人などを紹介する展示の充実
- ・資料増加に伴う施設増築の検討

③ 人材

a. 解説や指導を行う市民の育成と確保

- ・施設ボランティアや友の会的な組織づくりの模索

(5) シンクルトン記念館

① プログラム

a. 新たなプログラム（見学、体験）の開発

- ・石油の湧出を実感できるツアーの開催
- ・蔵王権現遺跡～黒川城登山体験の中間拠点として

- ・子どもから大人まで気軽に楽しめる体験プログラム（採油体験、散策会など）の実施

b. 企画展の開催、展示替えの実施

- ・市民の方々、来客者の意見を取り入れながら実施

② 施設

a. 日本最古の石油発祥地、国史跡としての認知度の向上

- ・石油の歴史、石油に関する情報を紹介する展示の充実
- ・燃水祭のPR施設として
- ・散策ルート、新たな案内看板の設置

b. 近代化遺産としての認知度の向上

- ・近代化遺産への登録検討

c. 周辺自然の利用

- ・昆虫、植物などの自然観察コースとして
- ・メダカ、ザリガニの観察池として

③ 人材

a. 解説や指導を行う市民の育成と確保

- ・施設ボランティアや友の会的な組織づくりの模索

(6) その他の生涯学習系施設と体験受け入れについて

a. スポーツ施設（胎内球場、ラグビー場、ライフル射撃場など）の活用

“スポーツ”をまちづくりや地域づくり、観光の手段として捉えることにより、胎内リゾートの魅力が更に向上するものと考えられる。

そのため、市内宿泊施設（特に胎内アウレツ館）と結びつくとともに、施設管理を徹底することを念頭に置く。

まずは①品質の向上②サービスの向上③清潔さの向上を図ることで、既存の合宿団体の満足度を高め、スポーツ合宿の地としてのイメージを強化していきたい。

b. 胎内フラワーパーク、黒川フルーツパークの活用

胎内リゾートエリアにある胎内フラワーパークは、周辺の観光施設等と連携を図ることで来訪者への「憩いの場」とし活用を推進する。また、黒川フルーツパークにおいては、季節毎の果樹のもぎ取り体験等が楽しめることから、各観光施設と結びつけ誘客を図る。

5. 胎内アウレツ館について

5.1 胎内アウレツ館の位置づけ、具体的展開策

【基本方針】

- 「胎内アウレツ館」として主として青少年の団体専用宿泊研修施設として運営
- 食材の供給、管理業務等地域と連携した施設運営
- 豊かな自然と農林漁業体験を活用した商品の企画販売

① 営業・販売

a. 教育旅行の誘致

- ・こども農山漁村交流プロジェクトに呼応して首都圏、新潟市内の小学校をターゲット
- ・教育旅行等学校側の企画全体のコーディネートをアシスト
- ・多様で教育効果の高い体験プログラムの整備

b. スポーツ合宿の誘致

- ・胎内市管理のスポーツ施設管理部署と連携し利用者の利便を図る
- ・県内の高校、専門学校、大学等への個別訪問営業

c. おとなのグリーンツーリズム企画・販売

- ・地域資源を有効に活用した商品を企画
- ・総合旅行会社との連携実施
- ・新潟市等との広域連携システムの確立

② 飲食

a. セルフサービス

- ・配膳及び一部盛り付け等については宿泊者自身が行う

b. 地域食材の活用

- ・米飯については、市内で生産されたコシヒカリを100%使用
- ・胎内市産季節の野菜を出来る限り使用

c. スローフードの促進

- ・宿泊者のニーズを把握するとともに地域性豊かな献立とする
- ・ファーストフードよりスローフードを優先し食育に寄与する

③ 施設

a. 研修施設としての適正化

- ・ホテルとしての機能から研修施設としての機能性を高める
- ・小学生にもわかりやすい館内表示・掲示

b. 安全性の確保

- ・避難経路、非常口等をわかりやすく表示
- ・転落等危険防止対策の徹底
- ・非常時における対応研修実施

④ 労務管理・人材育成

a. コーディネーターの育成

- ・宿泊者のニーズを的確に把握し体験メニュー等のコーディネートができる人材の育成

5.2 胎内アウレツ館の今後の展開

(1) 胎内型ツーリズム

平成19年6月に胎内型ツーリズム推進協議会を設立し、都市住民との物心両面で交流を図ることで農村地域の活性化をめざし、平成20年度は体験プログラムの整備、農泊等受け入れ態勢の整備を図りながら首都圏からの教育旅行の受け入れ、市内小学校のふるさと体験学習を実施してきた。

このことは、実施側の学校にとっては、教育効果という観点で高い評価を得ることができており、また受け入れ地域にあっても「こども達の笑顔が地域を元気にする」というキャッチフレーズどおり地域の活性化に繋がったと考えられる。

今後は、さらに体験プログラムと農泊等の受け入れ態勢を充実させるとともに他地域に例のない市営の研修宿泊施設「胎内アウレツ館」を有効に活用し事業推進していく。

(2) 主要なターゲット

主要なターゲットを地域的には、新潟市を中心とした県内と首都圏とし、年代及び旅行の目的別には次に掲げる3本の柱とする。

- ①小中学生を中心とした教育体験旅行の推進
- ②小中高校生及び大学生のスポーツ合宿、民間企業の研修
- ③企画商品販売による「おとなのグリーンツーリズム」

(3) 価格設定

青少年の団体については、1泊2食5,000円～5,300円。その他の団体については、6,300円とする。

5.3 ロイヤル胎内パークホテルとの区分と連携

(1) 施設の利用区分

連絡通路

ロイヤル胎内パークホテルの客層と胎内アウレッツ館は施設としての位置づけ、客層が異なることから、ロイヤル胎内パークホテルが持つ雰囲気を保つため、ロイヤル胎内パークホテルと胎内アウレッツ館をつないでいる連絡通路は常時閉鎖とするが、双方連携が必要な場合は開錠する。

(2) ロイヤル胎内パークホテルとの連携体制

① 胎内アウレッツ館宿泊予定の把握

特に非常時において、胎内アウレッツ館とロイヤル胎内パークホテルは建物自体が元々つながっていること。また、火災報知器等の非常用設備機器が一部連動していることなどから、合同避難訓練等、非常時を想定し日頃より連携できる応援体制を構築する。

② 宿泊者の把握

特に繁忙期については、胎内アウレッツ館・ロイヤル胎内パークホテルの宿泊者が多くなることから、双方の宿泊状況について常に把握できる体制を構築する。

6. 観光交流センターについて

【基本方針】

- 地域及び地域外との交流機能を促進することができる方策の充実
- 観光案内の充実に資する情報の確保
- 活性化を目的とした行政・地域と連携したイベントの企画と運営

① 営業・販売

- ・ 地域特産品に関する情報を収集するとともに、取扱店（所）と連携して宣伝・販売活動の充実を図っていく。
- ・ 宣伝・販売活動を通じて積極的に来館者との交流を図り、市の自然、食、史跡に関する情報を発信していく。

② 飲食

- ・ 胎内の水コーヒーの常時提供等と販売活動を推進する。

③ 施設

- ・ 樽ヶ橋エリアの景観や隣接施設との連携のしやすさという魅力を生かした施設の運営に努める。
- ・ 河川公園竣工イベントの開催を機に、くつろぎ空間の創造や維持に取り組んでいく。
- ・ 胎内市の観光に関する施設の情報提供、宣伝活動ができる施設の工夫に努める。
- ・ 樽ヶ橋エリアの周知を図るため、自作のポスターを作成して、市内小学校・保育園・幼稚園に配布する。（第2次胎内リゾート活性化プラン【基本施策】の対象を市内に向けた取組）

④ 労務管理・人材育成

- ・ 朝会、研修会の実施、文書の作成と配布を行って、全職員の共通理解が図れるようにする。
- ・ イベントの役割分担を明確にして準備・運営への当事者意識を高めるとともに、全職員で考えを出し合って遂行する姿勢を堅持する。
- ・ 職員が互いに声を掛け合い、孤立感や失望感をもったりすることがないように、風通しのよい職場環境の構築に努める。

参考資料：胎内リゾート施設で受け入れ可能な体験プログラム

黒川郷土伝習館

施設の開館は、4～11月の9：00～17：00、毎週月曜休み。		
入館料	【郷土文化伝習館】 ・一般：200円、(団体：150円) ・小中学生：100円(団体：50円)	【粉食文化体験館使用料】 ・一般：300円、(団体：250円) ・小中学生：200円(団体：150円) ー体験内容で材料費は異なるー

【体験】

●古代食づくり体験と縄文生活体験（小中学生対象）

⇒「古代米のおにぎりづくり」、「木の実を粉にして作るクッキーづくり」、「縄文生活（弓矢づくり、火起し、勾玉づくり、土器づくり）体験」。大人でも弓矢作りなどの体験が可能。

⇒古代食づくりと勾玉づくりは雨天でも可能。縄文生活体験は屋外で行うものがあるため雨天は不可。

⇒体験は、古代食づくり以外なら当日申し込みで、5～6人程度なら随時対応可能。

⇒遺跡の発掘などを行っている場合は見学も可能。

⇒他に「かんたん和紙づくり体験」「昔の道具（わらじ、竹とんぼ、竹馬、水鉄砲）づくり体験」。

シンクルトン記念館

施設の開館は、通年9：00～17：00、毎週月曜休み。		
入館料	・一般：300円、(団体：250円)	・小中学生：150円(団体：100円)

⇒特に体験プログラムはないが、石油および石油採掘に特化した施設は全国的にも珍しく、原油の湧出箇所が公園施設内にあることは特徴的。

胎内昆虫の家

施設の開館は、3月下旬～11月の9：00～17：00、毎週月曜休み。(夏季は無休)		
入館料	・一般：410円、(団体：310円)	・小中学生：260円(団体：210円)

【体験】

⇒バックヤードツアーは、事前申し込み、1回20人程度までが可能。時間は30分程度で、普段見ることができない昆虫の飼育を見せる。

⇒歩ける年齢の児童であれば、カブトムシに触ることやチョウの餌やりなどの体験は可能。

⇒標本づくりや「博物館」の意味や目的を説明しどのような施設なのかを見せるプログラム

- ム、1時間程度の飼育体験（チョウの幼虫、カブトムシやクワガタ、カマキリなどへの餌やり）などのプログラムにも対応。
- ⇒「毛虫に触ってみよう(5～8月)」など、今後も触れる昆虫を拡大予定。一般的に悪いイメージを持たれている昆虫（ゴキブリ、毛虫など）に対するイメージの払拭も兼ねた体験プログラム。
- ⇒体験は5月の連休に集中的に実施。今後も体験を強化予定。
- ⇒例年5月の連休には、ギフチョウの羽化の観察会を実施しており、何か他の体験を組み合わせ、一般の来館者が楽しめるものにする予定。
- ⇒今後、「夜行性の昆虫を見せる夜間プログラム（夏季は忙しく実現していない）」「昆虫の鳴き声を聞いたりするナイトツアー」「飼育ボランティア（自宅に昆虫を連れ帰り飼育）」を実施したい。

胎内自然天文館

施設の開館は、4～11月の9：00～17：00、毎週月曜休み。（夏季は無休） ・毎週土曜日の夜間は公開。日曜・平日夜間の団体利用も可能	
入館料	・一般、高校生：300円、（団体：200円） ・小中学生：150円（団体：100円）

【体験】

- ⇒担当者が望遠鏡を見せながら説明を実施。観測ができない天候の場合は画像や動画などを見せる。説明は1時間に1回（夏季）実施。
- ⇒毎週土曜日の夜間、2時間程度の天体観測会を開催。夜間の開催希望が多い。
- ⇒施設の夜間公開の他に、担当者が他施設へ出かけての「出前」も要望があれば対応可能。

クレーストーン博士の館

・施設の開館は、4～11月の9：00～17：00、毎週月曜休み。（夏季は無休） ・ろくろを使う陶芸作品は土日曜のみ可、他の曜日は陶芸、アクセサリ体験受け入れ可。	
入館料	・一般、高校生：300円、（団体：200円） ・小中学生：150円（団体：100円）

⇒体験料金には施設入館料を含まない。

【体験】

- ⇒体験は、ニーズが増加傾向にあり、展示のレイアウトや方法を改善して、受け入れを増やす意向。
- ⇒鉱物の展示は、手で触れてレンズで拡大するなど鉱物の結晶のような肉眼で見えないものを見せていく体験プログラムづくりを検討。
- ⇒今後は、常時、何か体験（大人、子供両方を対象）ができるスペース作りを検討。
- 平成21年度は鉱物の体験教室を実施予定。

- アクセサリづくり体験（大人・子ども対象）

⇒ネックレスの制作時間は最長 2.0h、それ以外のものは 1.0h 程度。使用する天然石は約 100 種類。

⇒現在の天然石アクセサリー作り体験の客層は、高齢者、若い母親と子供が中心だが、一般客は減少し、団体客のアクセサリーづくりの体験が増加。天然石のアクセサリーを 500～700 円で作ることができ、持ち帰れることと体験の目的が明確な点が人気。

⇒受け入れ可能人数は、1回 30 名。

体験内容	料金
ストラップ (大、小)	¥800 (大)、¥500 (小)
プレスレット	¥600
ネックレス	¥1,000

●陶芸体験 (大人・子ども対象)

⇒市販の陶芸用粘土を使用。作陶 (手びねり、ろくろ) と絵付け体験があり、完成した作品は焼成後、発送。ろくろ体験は要予約。

⇒主な体験料金は以下のとおり。いずれも送料は別料金。

体験内容	料金
絵付け (皿)	¥1,000 (皿・大)、¥800 (皿・小)
〃 (茶碗)	¥1,600 (抹茶茶碗)、¥1,000 (ご飯茶碗)
〃 (湯飲み)	¥800 (大)、¥700 (小)
〃 (コーヒーカップ)	¥1,200
手びねり (粘土 500g 使用)	¥1,500
ろくろ (粘土 1.0kg 使用)	¥2,000
別途焼き上げ料 (大きさによる)	¥500～2,000

⇒ホテルからの散歩道として、つり橋を活用した施設までのアクセスが可能。

胎内フラワーパーク

施設の開館は、4～11月の9:00～17:00、毎週月曜休み。(夏季は無休)	
入館料	・一般、高校生:200円、(団体:160円) ・小中学生:100円(団体:80円)

【企画・イベント】

⇒市民を対象としたガーデニング体験等の実施。毎年6月にヒマラヤの青いケシの展示を2週間実施。オープニングイベントとして、無料開放日の設定。

⇒体験の中でも当日申し込みOKのもの(クレーストーンのアクセサリーづくり、チューリップ染めなど)と、そうでないもの(ガイド付きトレッキング…事前にコースの下見を行うため)がある。また、農業体験(春の山菜採り、秋の茸採りなど)は、前日のチェックイン時に申し込めば対応できることを考えている。

●その他の体験

⇒「胎内型ツーリズム」として、農家の人から教える「蕎麦打ち」「笹寿司づくり」「米粉

のクレープ作り」など「食」を取上げた体験がある。
⇒ロイヤルの宿泊客を対象とした体験受け入れは、通常の料金よりも10~15%高い料金設定で受け入れを考えている。

胎内リゾート施設と対応可能な体験一覧

	春 夏 秋 冬												申込 の有無	備考				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
黒川 郷土文化伝習館	●古代食づくり体験 ●縄文生活体験 ●かんたん和紙づくり体験 ●昔の道具づくり体験								施設閉鎖 冬期は				当日 申込	・月曜休館 ・古代食体験は要事前予約 ・料金は体験内容により変更				
シンクルトン 記念館	○施設と公園を公開 <通年>												-	・月曜休館				
胎内 昆虫の家	●バックヤードツアー<通年> ●カブトムシに触れる、チョウの餌やり体験<通年> ●虫に触れる体験<5~8月> ●ギフチョウの羽化観察<5月の連休>								施設閉鎖 冬期は				要 事前	・月曜休館				
胎内 自然天文館	○日中は施設を公開 ●毎週土曜の夜間、天体観測会<4~11月>												不要	・月曜休館 ・毎週、土曜の夜は天体観測会を開催				
クレーストーン 博士の館	●天然石アクセサリー作り体験<4~11月> ●陶芸体験<4~11月>												不要	・月曜休館 ・料金は¥500~¥1,000				
胎内 彫刻美術館	- 閉鎖 -													-				
胎内 フラワーパーク	○花壇などの施設を公開<4~11月> ○ヒマラヤの青いケシの展示<6月2週間>								施設閉鎖 冬期は				-	・月曜休館 ・市民向けガーデニング講習などを開催				

参考資料：たいない型体験学習 体験プログラム一覧

プログラム	
1	<p>田んぼの学校</p> <p>内容 古くから農業の営みの中で形づくられてきた田んぼは農村の自然環境の重要な要素となっています。お米を通して農業や農村が持つ多面的機能(生物生態系保全機能、やすらぎ機能等)の理解を深めます。</p> <p>地域 胎内市のお米は、土づくりを含め農家のこだわりがあらわれています。</p> <p>教育 米の消費拡大、食料自給率、自然の恵みへの感謝の気持ち、食生活の大切さ、自然の素晴らしさ</p>
	<p>やわはだネギ収穫体験</p> <p>内容 地域ブランド「やわ肌ねぎ」の収穫体験。ねぎ・にんじんの野菜指定産地など野菜栽培が盛ん。</p> <p>地域 農産物直売所などによる女性グループの活動が盛ん。</p> <p>教育 生産者のこころ、感謝の気持ち、食の生産現場</p>
	<p>にんじん収穫体験</p> <p>だいこん収穫体験</p> <p>ごぼう収穫体験</p> <p>ずむぐり豆(落花生)収穫体験</p> <p>サツマイモ収穫体験</p> <p>みょうが採り体験</p>
	<p>チューリップ菜の花体験</p> <p>内容 胎内市はチューリップ球根出荷生産量日本一。チューリップの染物は、自然の色合いが楽しめます。</p> <p>地域 チューリップ球根生産量日本一。チューリップフェスティバルは市民も楽しみにしている。</p> <p>教育 自然の恵みへの感謝の気持ち、植物の美しさ、作品1つ1つが異なり味があるところ</p>
2	<p>間伐・除伐・枝打ち・下草刈り体験</p> <p>内容 作業を体験し、森林のはたらき(保水力・浄化能力など)を学び、森に関する仕事に携わる人の心に触れる。</p> <p>地域 地域では持て余している、人手がない、「いつかは何とかしたい」を子どもたちの手を借りて実施したい思いもある。</p> <p>教育 森林の働き、動・植物、環境問題、環境保全など</p>
	<p>間伐材を使った木づくり</p> <p>内容 木の畑と言わなければならない日本の森林面積の4割を占めます。間伐材を使ったオリジナルグッズを作ります。</p> <p>地域 地域では持て余している、人手がない、「いつかは何とかしたい」を子どもたちの手を借りて実施したい思いもある。</p> <p>教育 森林の働き、動・植物、環境問題、環境保全など</p>
3	<p>マイ箸づくり</p> <p>炭焼き作業体験</p> <p>原木しいたけ栽培体験 しいたけ収穫(ふた夏こえて秋から春に発生)</p>
	<p>ふれあいと学びの世界</p>

6	<p>地引き網体験</p> <p>内容 日本海で地引き網を体験します。海の幸を網にして味わうのは格別です。</p> <p>地域 かつては漁業で栄え、金毘羅神社などの文化財も多い。</p> <p>教育 自然の素晴らしさ、海の厳しさ、七夕流し</p>
	<p>海の環境学習</p> <p>魚料理体験</p> <p>農家民泊体験(農泊)</p> <p>内容 子どもたちの農山漁村の宿泊体験は、自然や人とのふれあいから発する「なんで?」「どうする?」「どうしよう?」が、実感の伴う「学びの機会」となる。</p> <p>地域 子どもたちの笑顔が地域を元気にする</p> <p>教育 広い物ごとへの関心、学習意欲の向上、コミュニケーション能力の育成、豊かな人間性・社会性の醸成</p>
	<p>つみ草料理体験</p> <p>内容 野山を歩いてつみ草を楽しむ。もののいのちをいただく、あるいはそれを培った太陽や大地、水、人々すべてに対し感謝し「いただきます」という気持ちでいただきます。</p> <p>地域 H19全国山野草・つみ草料理まちおこしサミット開催地。胎内ササガ記念日・つみ草料理を毎年実施。</p> <p>教育 自然の恵みへの感謝の気持ち、食生活の大切さ</p>
	<p>笹だんごづくり</p> <p>内容 笹の葉でくるんで作る田舎にいがたの味「笹だんご」づくり体験。蒸かしたてのヨモギの香りがたまりません。地域に根付き育まれた郷土の伝統料理等とおして、食の大切さを学びます。</p> <p>地域 地元では、田植えが終わった頃に各家庭で作られています。胎内市は笹がとて豊富です。</p> <p>教育 自然の恵みへの感謝の気持ち、食生活の大切さ</p>
7	<p>竹すしづくり</p> <p>堆肥センターに学ぶ(環境保全型農業及び有機質循環型農業)</p> <p>米粉(こめこ)クッキング体験</p> <p>内容 お米は日本で自給ができ、栄養面でも優れた食品です。しっとり・もちもちの「ピザ」「クレープ」「クッキー」などを作ります。地域に根付き育まれたお米文化等とおして、食の大切さを学びます。</p> <p>地域 胎内市は日本で初めて学校給食において米粉パンを導入。地元製粉会社(新潟製粉)あり。</p> <p>教育 米の消費拡大、食料自給率、自然の恵みへの感謝の気持ち、食生活の大切さ</p>
	<p>ふれあいと学びの世界</p>
8	<p>ものづくりと学びの世界</p>
	<p>ものづくりと学びの世界</p>

12	<p>ワイン用ぶどうの作業体験</p> <p>内容 日本海を望むワイン専用品種ぶどうのほ場で作業体験。秋には収穫を迎え、低温発酵、低温熟成の胎内高原ワイナリーで胎内高原ワインに製造される。</p> <p>地域 胎内蔵王山の中腹にある自園葡萄100%を使用したワイン</p> <p>教育 生産者のこころ、感謝の気持ち、食の生産現場、加工現場</p>
	<p>ブルーベリー摘み取り体験</p> <p>ブナ林トレッキング</p> <p>内容 山は木材の供給より、その保水力ときれいな水や空気を供給する役割が大きくなっています。「1本の木から80も水がわき出る」と言われるブナ林を歩きます。</p> <p>地域 「日本一小さな山脈」樹形山脈や奥胎内は老若男女の市民から親しまれている。</p> <p>教育 森林の働き、動・植物、植物の盗掘やゴミのポイ捨てなどの環境問題、環境保全など</p>
	<p>ネイチャーゲーム</p> <p>オリエンテーリング・ウォークラリー</p> <p>パードウォッチング</p> <p>日本最古の油田で採油体験</p> <p>内容 天智天皇に献上したといわれている日本最古の油田。実際にカグマという草で採油します。公園内には油井戸が点在しています。</p> <p>地域 7月1日は燃水祭が開催されている。</p> <p>教育 昔の生活、環境問題、エコ</p>
	<p>森林・川・田に親しみながら昆虫を探そう(昆虫観察会)</p> <p>内容 「地球は昆虫のもの」と表現する方もいるように昆虫は動物種の8割を占めています。自然の中に生息する昆虫を探してみよう。</p> <p>地域 絶滅危惧種のイバラトミヨが生息しており、イバラトミヨ・水芭蕉の会(市民団体)も活躍。</p> <p>教育 自然の素晴らしさ、命の尊さ、昨今の地球温暖化</p>
13	<p>自然と環境を学ぶ</p> <p>天然石アクセサリーづくり</p> <p>内容 いろんな石を選んで組み合わせれば世界に一つしかないプレスレットが作れます。携帯ストラップやネックレスも人気です。</p> <p>地域 2億年前の地殻変動によって作られた「夏井の大波石」は太古のロマン。</p> <p>教育 物を創造する楽しさ、作品1つ1つが異なり味があるところ、何もかも忘れて集中する</p>
	<p>ものづくりと学びの世界</p>

17	<p>手ひねり体験・絵付け体験(陶芸体験)</p> <p>内容 手ひねりは、粘土をひねり伸ばしながらオリジナル湯飲みを作ります。くいだみや縁皿なども可能です。絵付けは、用意してある各種皿などに好きな絵を描く初心者にも簡単な陶芸体験です。</p> <p>地域 2億年前の地殻変動によって作られた「夏井の大波石」は太古のロマン。</p> <p>教育 物を創造する楽しさ、作品1つ1つが異なり味があるところ、何もかも忘れて集中する</p>
	<p>星空観察</p> <p>内容 胎内自然天文館にある県内最大級の60センチ反射望遠鏡や双眼鏡で星空を観望します。澄んだ空気と星空の不思議を感じつつ、大気汚染などの環境問題の気づきを育みます。</p> <p>地域 胎内星まつりは世界最大の星の祭典といわれ、市民にも親しまれている。</p> <p>教育 星空の不思議、大気汚染などの環境問題</p>
	<p>ほたる観察</p> <p>カヌー体験</p> <p>内容 カヌー体験は、安全に留意しカヌーを自由に操作することで、運動の楽しさを求め活動する工夫を学び、また、カヌー体験を通して自然を満喫し体感できるのが魅力です。</p> <p>地域 「胎内」はアイヌ語で「清い水が流れる地」という意味がある。</p> <p>教育 胎内川について、自然環境、運動の楽しさ</p>
	<p>スキー・スノーボード・歩くスキー体験</p> <p>内容 ウィンタースポーツの代表ともいえるスキー・スノーボードを楽しんでいただきます。インストラクターによる指導により、短時間で「達成感」を味わうことができます。</p> <p>地域 下越地方最大の胎内スキー場があり、地元子どもたちの利用が多い</p> <p>教育 雪の話、達成感、仲間づくり</p>
18	<p>古文体験</p> <p>縄文料理づくり</p> <p>内容 縄文時代の粉食文化を体験し、私たちの祖先がどのように生活してきたか食とおして学ぶ。自然の木の実を石皿の上のせ、丸い石を使い粉にし、蜂蜜などをまぜて作るクッキーは人気。</p> <p>地域 全国的にも珍しい縄文文化の完形の漆塗り水差しと日本最北端の弥生再葬墓が出土した分谷地A遺跡。</p> <p>教育 昔の人のすごさ、現代の便利さ、エコ、感謝のこころ</p>
	<p>勾玉・石器づくり(古代体験)</p> <p>弓矢・火おこし・石皿(古代体験)</p> <p>わら細工</p>
19	<p>スポーツに親しむ</p>
	<p>古文体験</p>
20	<p>古文体験</p>
	<p>古文体験</p>
21	<p>古文体験</p>
	<p>古文体験</p>
22	<p>古文体験</p>
	<p>古文体験</p>
23	<p>古文体験</p>
	<p>古文体験</p>
24	<p>古文体験</p>
	<p>古文体験</p>
25	<p>古文体験</p>
	<p>古文体験</p>
26	<p>古文体験</p>
	<p>古文体験</p>

22	<p>かわいい小物づくり</p> <p>内容 貝殻を使ったスズメの置物や果物の種子を使ったブローチなど、意外な素材からかわいい作品が出来上がります。</p> <p>地域 もったいない(胎内)の取り組みとして注目されている</p> <p>教育 自然の恵みへの感謝の気持ち、作品1つ1つが異なり味があるところ</p>
	<p>押し花づくり</p> <p>内容 押し花で様々な絵や模様を描くことにより、自然とのかかり方や大切が学べます。</p> <p>地域 生涯学習メニューとして、市民グループの取り組みが盛ん。</p> <p>教育 自然・植物への感謝の気持ち、植物の美しさ</p>
	<p>神楽鑑賞会(神楽体験)</p>
	<p>さいの神</p>
24	<p>北前船の歴史を学ぶ</p>
	<p>その他</p>

第2次胎内リゾート活性化アクションプラン

平成26年3月

胎内市

〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

TEL:0254-43-6111 FAX:0254-43-7392